

ID: 281

担当部署: 上下水道部 水道課

| | | | |
|---|---------------------|--|-------|
| 処分の概要 | 料金の徴収 | | |
| 例規名 根拠条項 | 真岡市水道事業給水条例 第20条第1項 | | |
| 例規番号 | 平成9年条例第25号 | | |
| 【基準】 | | | |
| 第20条から第22条まで及び第25条の規定による。 (料金の支払義務) | | | |
| 第20条 水道料金(以下「料金」という。)は水道使用者等から徴収する。 2 共用給水装置によって水道を使用する者は、料金の納入について連帯責任を負うものとする。 (料金) | | | |
| 第21条 料金は、次表による基本料金と超過料金の合計額に100分の110を乗じて得た額とする。ただし、その額に1円未満の端数が生じたときは切り捨てるものとする。 | | | |
| 基本水量・料金(1か月につき) | | 超過料金1m ³ につき(円) | |
| 水量(m ³) | 料金(円) | | |
| 10 | 1,400 | 11m ³ 以上20m ³ まで150 | |
| | | 21m ³ 以上50m ³ まで170 | |
| | | 51m ³ 以上100m ³ まで190 | |
| | | 101m ³ 以上210 | |
| 2 私設消火栓を公共のための演習以外の演習に使用したときの料金は、消火栓1個1回について440円とし、1回の使用時間は5分以内とする。 (料金の算定) | | | |
| 第22条 料金は、隔月定例日(料金算定の基準日として、あらかじめ市長が定めた日をいう。)にメーターの点検を行い、その期間の使用水量に基づいて算定する。ただし、やむを得ない理由があるときは、市長は、これを変更することができる。 (特別な場合における料金の算定) | | | |
| 第25条 月の中途において水道の使用を開始し、又は使用をやめたときの料金は次のとおりとする。 (1) 使用日数が、15日を越えず、かつ使用水量が基本水量の2分の1を越えないときは、基本料金の2分の1に相当する料金とする。 (2) 使用日数が、15日を越えたときは、1か月とみなして計算する。 | | | |
| 2 前項各号の規定によるほか超過水量については、この条例の規定による超過料金を増徴する。 | | | |
| 備考 | | | |
| 設定年月日 | 令和3年4月7日 | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 282

担当部署: 上下水道部 水道課

| 処分の概要 | 加入金の徴収 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|---------|-------|------------|----------|----|--------|----|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|-----------|----|-----------|-------|---------|
| 例規名 根拠条項 | 真岡市水道事業給水条例 第27条第1項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 例規番号 | 平成9年条例第25号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【基準】 第27条の規定による。 (加入金) 第27条 市長は、給水装置の新設又は改造(給水管の口径を増す場合に限る。以下この条において同じ。)をする者から、給水管の口径が次の表の左欄に掲げるものにつき、同表の当該右欄に定める額の水道加入金(以下「加入金」という。)を徴収する。ただし、改造に係る加入金の額は、新口径に対する加入金の額と、旧口径に対応する加入金の差額とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>給水管の口径(mm)</th> <th>加入金の額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>52,800</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>154,000</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>280,500</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>451,000</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>858,000</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>1,595,000</td> </tr> <tr> <td>75</td> <td>4,290,000</td> </tr> <tr> <td>100以上</td> <td>市長が定める額</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 前項の加入金は、当該工事の申込みの際徴収する。 3 既納の加入金は、還付しない。ただし、工事着手前に工事を取りやめたときは、この限りでない。</p> | | | | 給水管の口径(mm) | 加入金の額(円) | 13 | 52,800 | 20 | 154,000 | 25 | 280,500 | 30 | 451,000 | 40 | 858,000 | 50 | 1,595,000 | 75 | 4,290,000 | 100以上 | 市長が定める額 |
| 給水管の口径(mm) | 加入金の額(円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 52,800 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 154,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 280,500 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | 451,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40 | 858,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 50 | 1,595,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 75 | 4,290,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 100以上 | 市長が定める額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設定年月日 | 令和3年4月7日 | 最終変更年月日 | 年 月 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

ID: 283

担当部署: 上下水道部 水道課

| | | | |
|---|---------------------|---------|-------|
| 処分の概要 | 手数料の徴収 | | |
| 例規名 根拠条項 | 真岡市水道事業給水条例 第28条第1項 | | |
| 例規番号 | 平成9年条例第25号 | | |
| <p>【基準】 第28条の規定による。 (手数料) 第28条 手数料は、次の各号の区別により申込者から申込みの際、これを徴収する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 給水装置工事の設計審査をするとき 1件につき 1,000円 (2) 給水装置工事の検査をするとき 1件につき 1,000円 (3) 指定給水装置工事事業者の指定をするとき 1件につき 10,000円 (4) 指定給水装置工事事業者の指定の更新をするとき 1件につき 10,000円 (5) 各証明書交付の場合 1件につき 200円 <p>2 前項の手数料は、特別の理由がない限り還付しない。</p> | | | |
| 備考 | | | |
| 設定年月日 | 令和3年4月7日 | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 285

担当部署: 上下水道部 水道課

| | | | |
|-------------|---|---------|-------|
| 処分の概要 | 過料 | | |
| 例規名 根拠条項 | 真岡市水道事業給水条例 第34条及び第35条 | | |
| 例規番号 | 平成9年条例第25号 | | |
| 【基準】 | <p>第34条及び第35条の規定による。 (過料)</p> <p>第34条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、5万円以下の過料を科することができる。</p> <p>(1) 第5条の承認を受けないで、給水装置を新設、改造、修繕(法第16条の2第3項の厚生労働省令で定める給水装置の軽微な変更を除く。)又は撤去した者</p> <p>(2) 正当な理由がなく、第14条第2項のメーターの設置、第22条の使用水量の計量、第30条の検査又は第32条の給水の停止を拒み、又は妨げた者</p> <p>(3) 第18条第1項の給水装置の管理義務を著しく怠った者</p> <p>(4) 第21条の料金、第27条の加入金及び第28条の手数料の徴収を免れようとして、詐欺その他不正の行為をした者</p> <p>(料金を免れた者に対する過料)</p> <p>第35条 市長は、詐欺その他不正の行為によって第21条の料金、第27条の加入金及び第28条の手数料の徴収を免れた者に対し、徴収を免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料を科することができる。</p> | | |
| 備考 | | | |
| 設定年月日 | 令和3年4月7日 | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 287

担当部署: 上下水道部 水道課

| | | | |
|--|----------------------|---------|-------|
| 処分の概要 | 指定の取消し | | |
| 例規名 根拠条項 | 真岡市指定給水装置工事事業者規程 第8条 | | |
| 例規番号 | 平成10年水道事業管理規程第1号 | | |
| <p>【基準】 第8条の規定による。 (指定の取消し) 第8条 市長は、指定工事業者が次の各号のいずれかに該当するときは、第4条第1項の指定を取消することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 不正の手段により第4条第1項の指定を受けたとき。 (2) 第5条各号に適合しなくなったとき。 (3) 前条の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をしたとき。 (4) 第12条各項の規定に違反したとき。 (5) 第13条に規定する給水装置工事の事業の運営に関する基準に従った適正な工事の事業の運営をすることができないと認められるとき。 (6) 第16条の規定による市長の求めに対し、正当な理由なくこれに応じないとき。 (7) 第17条の規定による市長の求めに対し正当な理由なくこれに応じず、又は虚偽の報告若しくは資料の提出をしたとき。 (8) その施行する工事が水道施設の機能に障害を与え、又は与えるおそれが大であるとき。 | | | |
| 備考 | | | |
| 設定年月日 | 令和3年4月7日 | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 288

担当部署: 上下水道部 水道課

| | | | |
|---|----------------------|---------|-------|
| 処分の概要 | 指定の停止 | | |
| 例規名 根拠条項 | 真岡市指定給水装置工事事業者規程 第9条 | | |
| 例規番号 | 平成10年水道事業管理規程第1号 | | |
| <p>【基準】 第9条の規定による。 (指定の停止) 第9条 前条各号に該当する場合において、指定工事業者に考慮すべき特段の事情があるときは、市長は、指定の取消しに替えて、6月を超えない期間を定め指定の効力を停止することができる。</p> | | | |
| 備考 | | | |
| 設定年月日 | 令和3年4月7日 | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 1004

担当部署: 上下水道部 水道課

| | | | |
|---|----------------------|----------------|-------|
| 処分の概要 | 小規模水道布設者に対する給水停止等の命令 | | |
| 例規名 根拠条項 | 栃木県小規模水道条例 第13条 | | |
| 例規番号 | 昭和38年栃木県条例第30号 | | |
| 【基準】 第13条の規定による。 (監督及び処分) 第13条 知事は、衛生上又は保安上必要があると認めるときは、小規模水道布設者に対して当該設備の変更、修繕、給水停止、給水禁止等必要な措置を命ずることができる。 | | | |
| 備考 | | | |
| 設定年月日 | 令和3年2月1日 | 最終変更年月日 | 年 月 日 |